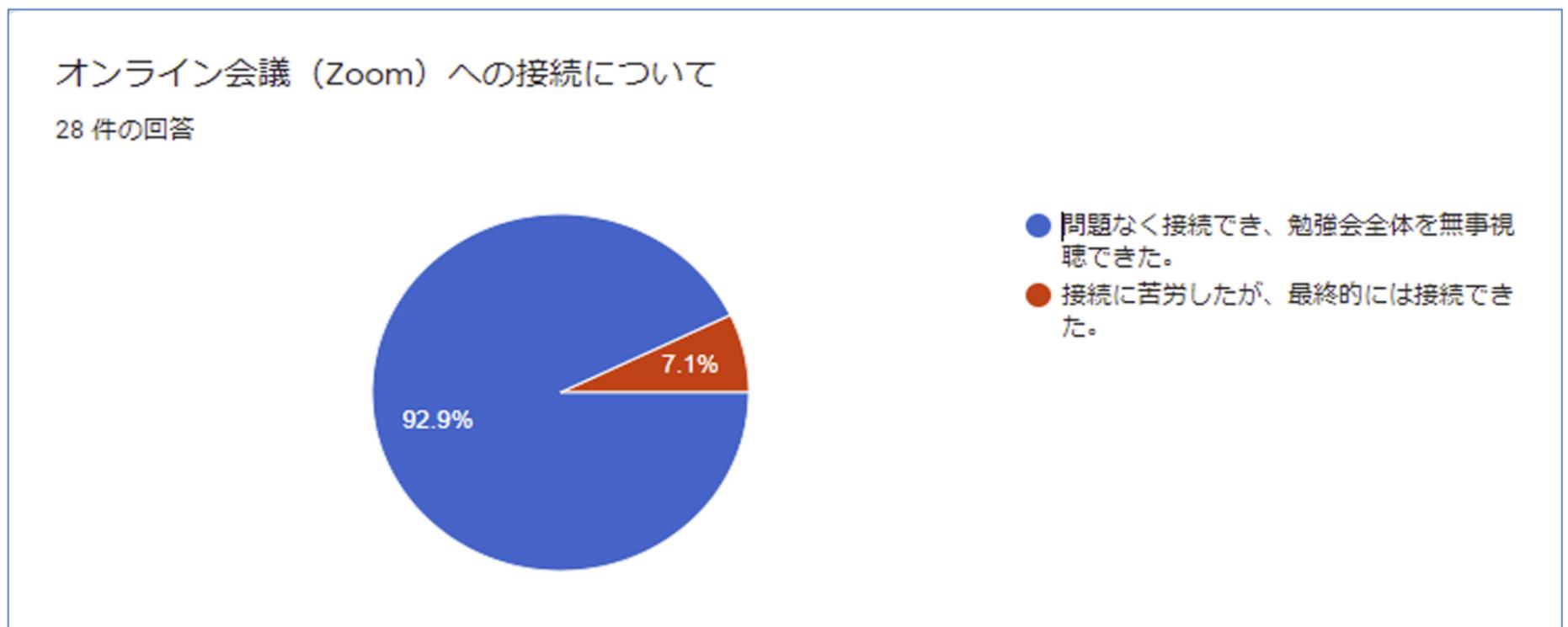


◆吉田緑氏のご講演へのご質問・ご意見・ご感想をご記入ください。

すばらしい勉強会だった。じつは、専門用語や組織の略称があったり、また(時間の関係で?)説明を省くところがあったりで、内容的には8割ほどしか理解できなかった。しかし、吉田さんの「専門分野に関してはキチッと説明し、逆に専門外の分野に関しては踏み込まない」という学者としてのスタンスが明確であった点を高く評価する。こういう姿勢が、委員の、ひいては食安委全体の信頼性を高める。この手のセミナーでは珍しく、「安全」は8割の充足、「安心」が9割の充足(普通、安全は8割でも、安心が5割以下のことが多い)。
貴重な講演ありがとうございました。「毒性」については社会の関心も高く、正しく伝えるのがとても難しいと痛感している分野ですので、勉強になりました。
とても分かりやすくていい内容でした。資料については私たちが組合員向けに学習会をする際の参考になりました。
専門的でちょっと難しかったですが、考え方の基本がわかりました。ありがとうございました。
専門性の高い内容でしたが、大変わかりやすかったです。どうもありがとうございました。
安全性評価に関する考え方など、大変参考になりました。
ハザードの確認とリスク評価をわかりやすく説明していただき、理解できたと思います。ありがとうございました。
分かりやすかったです。再評価により危険が発覚するも考えれる点が気になりました。
緑先生のご講演とてもわかりやすかったです。農薬のリスク評価について、概要を知っているつもりでしたが、改めて勉強になりました。評価のための4つの基準も、参考になりました。日々の業務に役立てていきたいと思えます！ありがとうございました。
非常に丁寧に詳しくお話しされたと思えます
わかりやすいご講演をありがとうございました。
非常にわかりやすく説明していただきよく理解できました。
毒性試験について、またデータ、文献の扱いについて、丁寧に情報提供いただきありがとうございました。専門的な内容も多く、一度聞いただけではなかなか理解しにくいものもありましたが、この勉強会をきっかけに自分なりに理解を深めていきたいと思えます。食品安全委員会の評価に対して信頼が深まりました。ありがとうございました。
JMPRがどのような評価を行ったのかがよく理解でき、参考になりました。ありがとうございました。
毒性試験の基本的な考え方について、再認識できました。ありがとうございます。
具体例をだしながら、丁寧にわかりやすく説明下さり理解を深めることができました。特に日本と海外の農薬の残留基準値が異なるのは何故か?の質問の回答内容は大変役立ちました。
わかりやすい内容とお話でした
とてもわかりやすい説明で理解しやすい内容でした。異なる機関が違う視点から評価することへの認識の差が生じていることがよくわかりました。グリホサートの危険性を持った方へ理解を促すことは容易ではありませんが、まずは自身が理解できたことが第一歩だと思います。
日本の食品の安全がこれほどまでに厳密に精査・判断されていることを初めて知りました。また吉田先生のお話は聞きやすかったです。ありがとうございました。
事前の質問からのキーワードに答える形で、IARC、JMPR、食品安全委員会の評価について整理しながら、また、データの質の重要性を解説しながら、分かりやすい説明を工夫されていたので、聞きやすかった。
ありがとうございました。「科学的根拠」をどうとらえて、安全へ結びつけていくのか、少しイメージができました。関わる専門家の方々や、組織、行政から出される「科学的根拠」が、消費者や不安で困っている人に伝わるコミュニケーションというところで何かできないか考えてみたいと思えました。
公表論文とGLPの毒性試験の比較など、明確でわかりやすいご説明でした。毒性試験のご説明やAmes試験等の単語が、難しく感じられた方もいらっしゃるかなという印象を持ちました。毒性のバックグラウンドのない方には、少し噛み砕いて説明されると一層理解しやすかったかもしれません。IARCの見解の根拠が公表論文から収集した2試験のみであることをこの機会に知り、大変に驚きました。吉田先生のお立場としてIARCに批判的と取れるご意見を述べることは避けられていたのだと思えますが、このあたりについて深掘りしたお話を伺ってみたいかったです。
リスクを評価するということについて、学ぶことができ、よかったです。
グリホサートが、毒性評価で安全であると評価されているのに、研究目的の論文の内容によって、誤解を招く不安を感じました。残留農薬が何のために使用されているか理解せず、嫌悪する消費者が、論文を悪用した情報を乱用しないことを願うばかりです。
この度は貴重な学びの機会を頂きありがとうございました。難解さもありましたが、IARCの分類の背景や、試験の精度についての捉え方、また毒性評価に関してそもそも農業従事者と消費者という対象の違いなど、入り組んだ問題を整理して捉えることができ大変有意義でした。ご発言の難しい部分もあるかは存じますが、消費者や農業者・関連事業者が農薬についてどのように捉えて感じているかも含め、また意見交換の機会をいただければ幸いです。
海外ではグリホサートは削減、禁止への動きがあると聞きましたが、日本ではなぜそのような動きが無いのかが不思議です。ラウンドアップのCMを見ても怖いな、と感じることがあり、人体への危機は無い、という結果を聞いても、一抹の不安が残るのが現状です。今後も注視していきたいことの一つです。
食品安全委員会がグリホサートの安全性を確認するプロセスの具体的説明を初めて聞くことが出来ました。従来は農薬の必要性和ADI値の説明を中心としたリスクコミでしたので目からウロコが落ちました。食品として口から入る残留農薬と農薬散布作業で浴びる農薬のリスクを分けて考える事が重要と知りました。

◆今回の勉強会全般へのご意見・ご感想をご記入ください(進行の小島さんへのご質問・ご意見も)。

内容的には難しかったですが、ここから先は、私たちジャーナリストの責任だと思いました。しっかり理解し、キチンと伝えられるように勉強しなくてはならないと、自覚し直しました。いい勉強会でした。
スライドの内容がやや難しい部分があり、そこをもうちょっと翻訳してもらえたら、ありがたかったです。
ストレスなく勉強ができました。時間配分も進行もよかったですと思います。
事前に勉強会で紹介した資料のURLを見られれば予習ができるので、今後検討していただきたい
全て順調で良かったと思います。
質問の視点が食品製造業に従事している自分とは異なり、大変興味深かったのと同時に勉強になりました。
グリホサートの話に関心がありました。取り上げていただき、ありがとうございました。
全体的に分かりやすかったです。
内容について理解されている方が司会なので、会場と演者との橋渡し役として適任でした。会場からの質問についてもきちんと取り上げてくださり、とても良かったです。
社会に正しい情報を発信するための重要なプロセスとおもいます。
質問の趣旨を上手く要約してくださったり、解説を挟んでいただいたりして、ありがたかったです。
講演自体が非常にわかりやすい内容でしたが、さらに参加者からの質問に多く答えるという進行は、理解をより一層深めることができたのでよかったですと感じます。
食品安全委員会の委員という立場もおありなので、内容によってはコメントしにくそうにされている場面がお気の毒に感じました。学習会の目的によっては、少し役割の異なる立場の方がおられると講師の方もお答えしやすくなるのではないかと感じました。
とても良い企画であったと思います。
よい企画でした。社会問題化している事象を、科学的な基本事項をあらためて確認することができました。この問題に詳しい小島さんの進行も、とてもスムーズで的確でした。
講演者、進行役ともに綿密な打ち合わせをされたことと思いますが大変、円滑な運営でした。初めて参加しましたが、大変よい勉強会と感じました。機会があれば、また参加させていただきたいと思っております。関係者の皆様、ありがとうございました。
わかりやすい説明でした
勉強会の時間は長くもなく短くもなく丁度集中できます。またメリハリあって聞きやすい内容でした。
オンラインだとスライド資料がはっきり見え、理解しやすいことを改めて感じました。非常に助かります。大変有意義でした。
フランクな進行でよかったですと思います。
消費者としては、食の安全に関わって、いろいろな立場の方から話を聴かせて頂けることは、とてもありがたいです。最終的には、自分の価値感や事情の中で、何を選んでいくかだと思いますが、わかりやすい情報は助かります。
ウェビナーでの開催をご検討いただけたらと思います。
時間配分が良く、最後まで集中して学習できました。
事前に集まった質問に、グループ分けした説明で、わかりやすかったです。
このような企画に視聴者として参加させていただけること、大変貴重で有難いと思いました。小島さまには生活者としてのジレンマを代弁していただき、また事前質問も数多く取り上げていただき感謝しております。このような会が回数を重ねることによって見えてくるもの、蓄積されていく共通理解が多くあるのではと存じますので今後の企画も楽しみに心待ちしております。ありがとうございました。
全く知識の無いフィールドです。グリホサートに関して、学術的に学べたことが良かったです。
講師の吉田緑氏による食品残留グリホサートの講演はリスク視点でなく純粋科学の話で大変良い勉強会でした。ジャーナリストが今日の内容を世間に発信してくれることを期待します。



◆今後、JFJの勉強会にて採り上げてほしいテーマをご記入ください。

例えばグリホサートやネオニコチノイドの模範的リスクコミュニケーションデモンストレーションとか、食をめぐるフェイクニュース全般(有機農業と食の安全、遺伝子組換えデマ(米・トマト))
有機栽培と慣行栽培の環境負荷
特にありません。
農薬の安全性、第二弾！が聞きたいです、次はリスクコミュニケーションについて。
予告されていたグリホサートの米国での裁判についての学習は非常に興味があります。その他のテーマについても食生活・食品安全の情勢変化にあわせて開催していただきたいと思っております。

何度か取り上げているかと思いますが、無添加表示問題の最新動向についてお願いいたします。
ネオニコなどの農薬の安全性、食物アレルギー、クロロプロパノール類などの汚染物質等。
ネオニコチノイド系農薬の危険性も流れている中、今回のような公演が聞きたいと思います。
ネオニコチノイドの環境への影響、みどりの食料システムとFarm to Fork
自主回収と食品ロスの関係について
グリホサートやネオニコチノイド系農薬の、発達障害との関連について
人の免疫力と食事の関連性について

***アンケートにご協力いただき有難うございました／JFJ事務局**